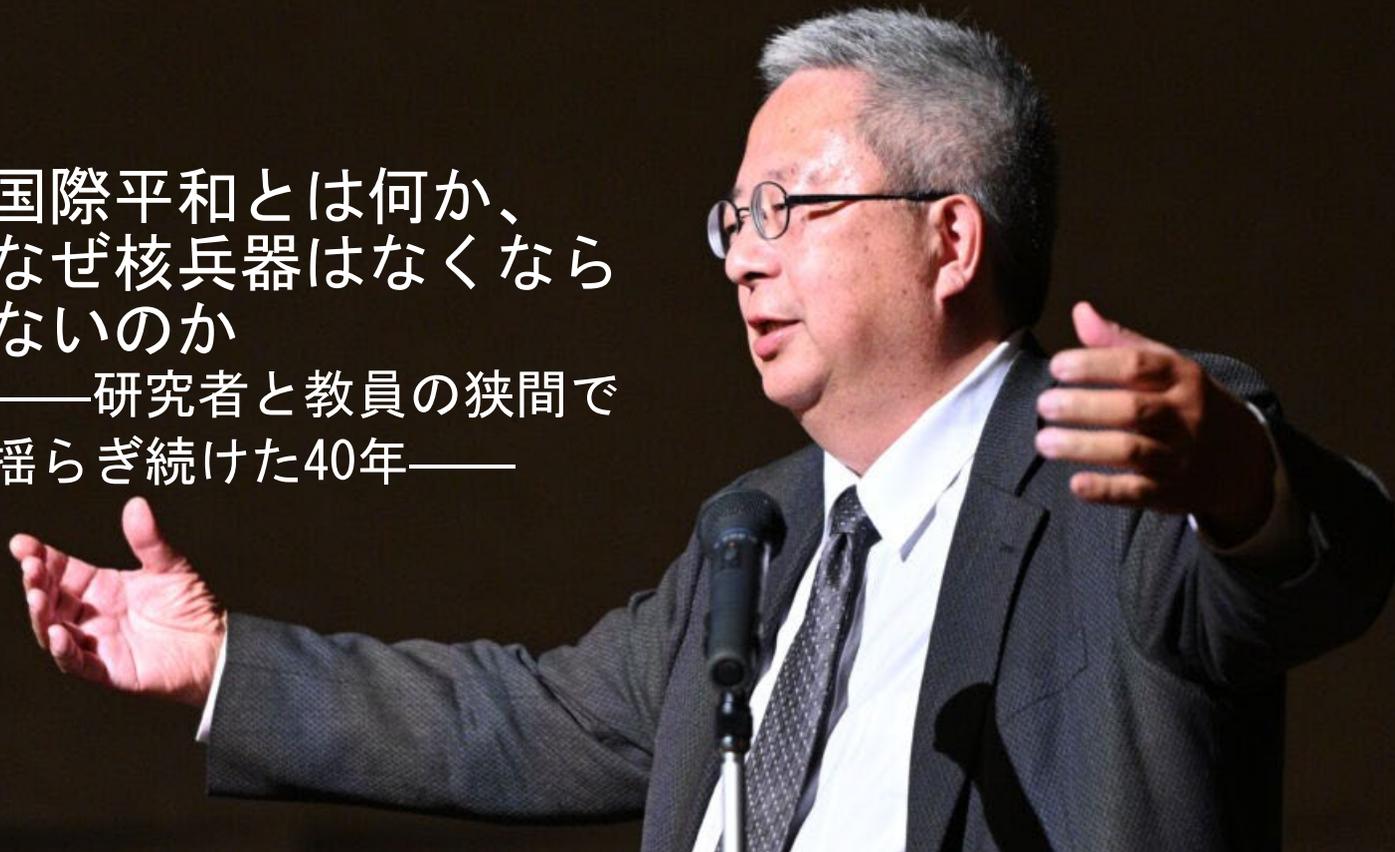


広島市立大学大学院平和学研究科 吉川 元 特任教授 最終講義

国際平和とは何か、
なぜ核兵器はなくな
らないのか
——研究者と教員の狭間で
揺らぎ続けた40年——



ロシアの対ウクライナ戦争に続きイスラエルのガザ侵攻が始まり、そして今、私たちは中台紛争と北朝鮮の核の脅威に備えねばならない。世界は混沌とし、東アジアの平和は脅かされている。振り返るに20世紀初頭から21世紀の今日までのおよそ1世紀の間、平時における政府や統治者による民衆殺戮の犠牲者数が戦争の犠牲者数を上回るとしたら、いったい平和と何だったのか。「核なき世界」を理想に掲げつつも、アメリカの核の傘から抜け出せない日本政府のこれまでの平和主義とは何だったのか。これまで日米安全保障同盟の呪縛から逃れられず、平和の制度設計、平和の制度構築を怠ってきた日本。そのつけを払わせられる時が到来する前に平和学の英知を結集し、平和の制度設計、平和の制度構築の道を探りたい。



特任教授：吉川 元

1951年、広島市生まれ。一橋大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学、博士（法学）。
広島修道大学法学部教授、ロンドン大学 LSE 国際関係研究センター研究員、神戸大学大学院法学研究科教授、上智大学教授を経て、2013年より広島市立大学広島平和研究所教授。

日時

2024年 3月8日（金） 15:00 – 16:30

会場

広島市立大学 講堂小ホール オンライン（Zoom）同時配信

申込URL

<https://forms.office.com/r/Lf8mwC4U88>

2024年2月29日（木）申込期限。対面の場合、当日参加も可能です。



お問合せ：広島市立大学事務局 教務・研究支援室 教務グループ
☎ 082-830-1504（平日8:30 – 17:00）、Mail: kyomu@m.hiroshima-cu.ac.jp